

2026年度 セカンダリ技術研修会（中級応用編・仙台）《対面受講・リモート受講併用》

～建築設備の応用と技術動向を身につけるために～

～東日本大震災から15年を振り返る～

今年、2011年3月11日に発生した東日本大震災から15年の節目の年になります。わが国は、南海トラフ地震や首都直下型地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震などの大規模災害が予想されております。最近も、能登半島地震、福島県沖地震や青森県東方沖地震など、全国各地で地震が発生しており、災害に対する備えの重要性が指摘されております。

本技術研修会では、これまでの震災による建築・設備被害の概要、東日本大震災後の政府や学協会の対応などを取り上げて講義をしていただきます。施設の企画、計画・設計や施工、管理等の参考になる講演を目指しております。

自治体や関連団体の職員だけでなく、民間企業に勤務されている皆さまにも、ふるって参加していただくよう、お声がけをお願い申し上げます。

2024年度から26年度までの3年度間の予定で、給排水衛生設備と空気調和設備分野のスタートアップ技術研修会とプライマリ技術研修会への教職員と学生の受講料を無料にしており、本技術研修会も同様と致します。建築設備技術者協会では、工業高等学校や大学に出前授業を行っている支部もあります。空気調和・衛生工学会は、1986年以降、振興賞高校教育賞を設け表彰してきました。とくに、次世代の建築設備を担う生徒の教育・育成に携わっている工業高等学校の教職員の皆さまが、基礎知識や応用技術に容易に触れられる機会を設けることに致しました。設備工業・設備システム・環境設備系の科に限らず、卒業後に建築設備に従事することがある建築系、機械系や電気系等の科の教職員の皆さまにも参加いただくようお願いしております。

**主催** 建築設備技術者協会東北支部、空気調和・衛生工学会東北支部

**特別後援** 日本設備設計事務所協会連合会、電気設備学会

**後援** 日本建築学会東北支部環境工学部会、日本冷凍空調学会東北地区事業推進委員会

日本技術士会東北本部衛生工学・環境・上下水道部会、日本空調衛生工事業協会東北支部、東北空調衛生工事業協会、青森県空調衛生工事業協会、岩手県空調衛生工事業協会、秋田県空調衛生工事業協会、宮城県空調衛生工事業協会、山形県空調衛生工事業協会、福島県空調衛生工事業協会、日本電設工業協会東北支部

**日程** 2026年12月3日（木）9：50～17：10

**開催場所** 宮城県管工事会館 9階 大会議室 仙台市青葉区本町3-5-22 TEL 022-224-7091

**定員** 対面45名、リモート100名（先着順受け付け、最小催行人数25名）

**CPD** 1時間当たり1ポイント（6ポイント）

**受講料** 1日・1人当たり2,000円（税込）。ただし、リモート参加の教職員\*1・学生\*2は無料。

（対面受講・リモート受講に関わらず同額）

\*1 教職員は、学校教育法や職業能力開発促進法等に基づき設置した学校に勤務する教職員に限る。申込書を送付する際、教職員であることがわかるものを添付ください。

\*2 申込書を送付する際、学生証の写しを添付ください。ただし、性別や生年月日等は黒塗りして差し支えありません。

**共通配布資料** 無料（データのみ提供）

**申込方法** 申込書に必要事項を記載して、FAXまたはE-mailにてお送りください。

※建築設備技術者協会と空気調和・衛生工学会東北支部ホームページからはExcelによる申込書がダウンロード可能です。

建築設備技術者協会（セミナー/東北エリア）<https://www.iabmee.or.jp/seminar-th/>

空気調和・衛生工学会東北支部

<http://tohoku.shasej.org/schedule.html>

**申込締切** 11月24日（火）正午 定員に達した場合は締め切ります。

**支払方法** 建築設備技術者協会東北支部より、請求書をお送りしますので、  
12月2日（水）までに、指定口座にお振り込みください。

#### **注意事項**

- ・銀行振込受領書をもって、領収書に代えさせていただきます。  
なお、建築設備技術者協会東北支部の請求書と領収書が必要な方は、その旨をご連絡下さい。
- ・配布資料は、対面受講の方もリモート受講の方にも、データをダウンロードいただくように致します。
- ・欠席された場合でも、受講料の払い戻しはいたしませんのでご了承下さい。

#### **申込・問合せ先**

技術研修会係（建築設備技術者協会東北支部、空気調和・衛生工学会東北支部事務局）

TEL：022-224-7091 FAX：022-797-2486 E-mail：[jabmee@tohoku-shibu.org](mailto:jabmee@tohoku-shibu.org)

プログラム

司会：空気調和・衛生工学会 東北支部  
 事業企画委員会 委員長  
 石島 和明（大成建設㈱ 東北支店）

【前半】

時間	題目・講師（敬称略）	
9：50～10：20	地震による貯水槽の被害メカニズムと対策・最新の研究	㈱エヌ・ワイ・ケイ 設計部 小野 泰介
10：20～10：50	非常用飲用水供給装置による生活水の確保	㈱ショウエイ 仙台営業所 小室 賢輔
10：50～11：20	ふくしま地中熱LLPの設立から 福島県地中熱協同組合への発展と今後	福島県地中熱協同組合 代表 須藤 明徳
11：20～11：30	休 憩	
11：30～12：10	東日本大震災の建築設備被害と課題、対策	東北文化学園大学 客員教授 赤井 仁志
12：10～13：00	福島県沖地震と能登半島地震の 建築・設備の被害	国土交通省 国土技術政策総合研究所 室長 向井 智久

【後半】

時間	題目・講師（敬称略）	
14：00～14：40	原発事故被災地における建築環境に影響する放射能汚染の現状	東北大学 大学院 工学研究科 都市・建築学専攻 教授 小林 光
14：40～15：30	再生可能エネルギー先駆けの地・福島を目指して	(公財)福島県産業振興センター エネルギー・エージェンシーふくしま 代表 坂西 欣也
15：30～15：40	休 憩	
15：40～16：20	災害時の活動拠点として官庁施設の防災・減災対策、福島国際教育機構(F-REI)の施設整備	国土交通省 東北地方整備局 設備技術対策官 近藤 裕介
16：20～17：10	東日本大震災後の給水、排水の対策と提言 ～空衛学会・建築設備技術者協会東北支部合同委員会の調査を踏まえて	東北文化学園大学 名誉教授 岡田 誠之

※ 開場は9：30分です